

議会報告会での報告に対する質問・意見及び要望

(国府公民館)

	意見・質問	会場での回答（及び検討結果）	担当
1	南北道の進捗状況はどうなっているのか？改良を早く。	A工区（747m）は栗柄地区及び高木地区とも、面積ベースで概ね70%の用地取得が完了している。境界確認もほぼ完了する。 平成26年度には、栗柄地区の四日市川上流右岸、左岸及び橋台工事を行った。 B工区は、境界確認、用地測量もほぼ完了し、用地買収も進めている。 D工区（470m）は、面積ベースで約90%の用地を取得する。工事は可能な箇所から工事を行い、11月上旬には北側の一部区間で通行を開始した。	建設
2	病院機構は毎年4億4～5000万の赤字を計上し続けるのではないかと。議員が病院機構の運営にどのように関わっているのか。運営に最低2人関わるべきである。	地方独立行政法人府中市病院機構の平成26年度決算では、両病院で1億672万2千円の赤字となった。市から不採算医療に対し、繰り出しもしている。常勤医師の減少による医療収入の減少や、病床削減の影響、また北市民病院建設時の起債の償還などの影響がある。 地方独立行政法人は、市が4年ごとに策定する中期目標に対し、中期計画の策定が義務付けられており、いずれも議会の承認が必要となり、議会で審議する。 また、病院の決算は、広島大学、岡山大学の両病院長や、会計士等で組織する「評価委員会」で適正な運営であるか評価を行う仕組みになっている。	厚生
3	府中市民病院へ産科を入れてほしい。12億円あれば、多くの人が道の駅ではなく、子育て支援、病院の産婦人科に使ってほしいと言っている。	承っておく。	建設
4	道の駅と天満屋の相乗効果が見込めるのか？	道の駅と天満屋が連携し、賑わいの創出、活気ある街を取り戻すよう計画している。	建設
5	道の駅の営業時間は？	決まっていない。（今後、指定管理者が決める）	建設
6	旭小学校のコミュニティ・スクール指定が平成30年度。それまでのブランクの理由は？	すべての学校を一斉に指定するのは難しいから、順番に、前段の取り組みを行いながら進めている。	総文
7	要援護者に対する取り組みを進めるための、市が整理された名簿（75歳時点）に死亡者が入っていた。後は、地域で調べてほしいというのは、行政の怠慢ではないか？	町内会に配付する要援護者の名簿は、毎年4月1日に住民基本台帳からデータを取り込みリスト作成し、民生委員を經由し町内会にお願いするシステムとなっているため、半年程度のタイムラグが発生する。なるべく直近のリストになるよう今後検討したい。 地域でも詳細把握にご協力いただきたい。	厚生

(生涯学習センター)

8	道の駅は、机上の空論、絵に描いた餅だ。失敗する。結果責任は、誰がとるのか？賛成した議員もあってほしい。	抽象的な当局の説明をはっきりさせる必要がある。20万人、2億5千万円が希望的観測でなく、途中でやめることのないよう、将来計画を作っていくことを議会として求めている。	建設
9	20万人の根拠は？駐車場35台で、一日平均550人となるが、市から具体的な案を聞いてほしい。JAと密接な関係を作らないのか？	(執行部の説明) 駐車場については、天満屋駐車場との相互利用による駐車台数の確保を図ることで、20万人の来場の受け入れが可能である。また、JA福山市、JA庄原、2つの農協の協力のもとで、産直市を盛り上げていただくよう考えている。	建設
10	今回の条例案に賛成した理由は？20万人の根拠が不明確。	中心市街地活性化、コンパクトシティを進めているが、今回の条例は、施設の設置管理条例であり、これを通さないと、次の指定管理者の選定に進めない。12月議会には内容がわかり、議論する。 20万人の想定は、国道を通過する車両台数から立寄り率をかけて算出している。	建設
11	コミュニティ・スクールは、まず、学校でしなければならないことをやってもらい、その後、学校が地域に出て、出来ないところを、援助してほしいという中身にしてほしい。	コミュニティ・スクールは、将来の府中市を支える子どもを地域ぐるみで育てるということをやっている。決して地域へ押し付けるものではないことをご理解いただきたい。	建設 総文
12	県内ではコミュニティ・スクールの指定が少ないのでは？町内に人がいなくて、子どももない。地域が喘いでいる状態で、コミュニティ・スクールを押し付けられても困る。	コミュニティ・スクールは、将来の府中市を支える子どもを地域ぐるみで育てるということをやっている。決して地域へ押し付けるものではないことをご理解いただきたい。	総・文
13	道の駅の目的は、賑わいの創出、歩いて暮らせる地域の形成というが、どの程度の人が歩いて行けるのか？ぐるっとバスを三室橋へ回してほしい。	ぐるっとバスは、交通再編の中で考えているという答弁であった。	建設
14	川上町は、全町危険地域で、県道筋は過去崩落もあった。避難場所へは川を渡って行かなければいけない。荒谷の採石場跡地の安全な工法をしてほしい。	避難場所については、状況に応じて、段階的な避難誘導を市で行っている。	総文
15	コミュニティ・スクールの計画で、府南学園は、小中一貫で、なぜばらばらなのか？	府南学園は連携型の小中一貫教育を行っている。コミュニティ・スクールについては、学びプランに沿って計画的に実施している。	総文

16	昨年の議会報告会で議論になった個人情報の漏洩問題について、議会としての具体的な取り組みがない。全容解明の取り組みを要望する。	承っておく。	議運
----	---	--------	----

(クルトピア明郷)

17	道の駅の採算性についての説明がされていない。他の道の駅と比較して、売り上げ等についての可能性を検討され、議会としての考え（見通し）を教えてください。	議会で議論しているが、内容がわからない所がある。設置管理条例を制定しないと前に進まないの、不安はあるが賛成した。府中の道の駅は、街中に設置され、他の道の駅とは違う。道の駅の目的は、賑わいの創出である。市民の声を聞き、議会として、成功するよう、市へ協力したい。	建設
18	20万人の客で、6割が府中市民となると、年3回道の駅を利用しなければならない。かなり協力しなければならない。採算性が合うよう、市民の憩いの場となるよう努力してほしい。	議会で議論しているが、内容がわからない所がある。設置管理条例を制定しないと前に進まないの、不安はあるが賛成した。府中の道の駅は、街中に設置され、他の道の駅とは違う。道の駅の目的は、賑わいの創出である。市民の声を聞き、議会として、成功するよう、市へ協力したい。	建設
19	不健康な期間を短くすることで、医療費削減につながるというのは疑問である。健康な間に働く場があるかが、問題の本質ではないか？	体を動かすことで、転倒防止、認知症予防につながることは先進地の事例でも聞いている。府中市では元氣もりもり体操で、日常生活の中で体を動かすことを勧めており、日ごろから体を動かすことを意識してほしい。元氣な高齢者の生きがい創出のため、高齢者の就労や、地域の支え手になっていただく取り組みも行っている。	厚生
20	健康寿命を延ばすには、食事の生活指導と精神性が重要である。府中には、芸術性を養成する施設が少ない。教育とタイアップして、中高年の人が、心を癒せる施設があってもいいのではないか？	今後も、現在取り組んでいる健全な食生活の推進を続けていきたい。府中には文化的な施設、行事が少ない。学びあふれるまち、生涯学び続けられるまち、心豊かにということを経営4次総合計画の柱に置いている。行政もこの部分に力を入れ、学びの場の提供は考えている。生涯学習は、元氣になる一つの要素であり、研究したい。	厚生 総文

(上下町民会館)

21	道の駅建設に伴い、建物の移転はどうなるのか？	ガソリンスタンドは現在そのまま残り、その他の建物は移転される。	建設
22	国府で府中市をPRするのはいいことだ。備後圏域での交流ができており、府中の国府を活用し、集客が出来る。展開を教えてください。	国の指定へ向け、報告書の2分冊目がほぼ完了し、住民説明会を行った。これから、備後国府を一つの手段として街づくりを進める。	総文
23	道の駅が市の事業として進んでいるが、建設委員会として、どのように考えているのか？	道の駅構想は、第2期中心市街地活性化事業で重要な役割を持つ。魅力ある中心市街地、賑わいの創出、農業振興、産業振興を図り、府中市を活性化するというのが基本的な考えである。計画が行政から出され、議会でチェックしながら、計画が府中市の活性化につながるよう検討している。	建設

24	集客の60%が市内という道の駅の考えは間違っている。市外から呼ぶのが道の駅のあり方（本質）だ。市内の人はめずらしい間に行くが、慣れたら行かないようになる。	道の駅は、中心市街地活性化事業の中で出てきて、コンパクトシティ、歩いて過ごせる街づくり、市中心部の賑わいを創出するというもの。今までの道の駅とは違い、街中にある道の駅。これがキーワードになっている。歩いて過ごせるということ、市内6割、産直市、観光資源、畜産物等を発展させようというコンセプトになっている。	建設
25	有線放送に替わり、屋外スピーカー放送の話があるが、音が聞えない所がたくさんある。声が割れ、屋内で聞えない場合もある。それを救うことを委員会として考えてほしい。今より条件が悪くならないように協議してほしい。	防災行政無線は、大雨、地形の関係で聞えない場合があるので、様々な手段で連絡できるよう協議している。ケーブルの告知放送をお願いしている。災害だけでなく、情報化の中で、インターネット、周辺地区の情報格差の是正が必要だ。12月議会で要望したい。	総文
26	情報格差について、旧府中市内でも格差があるということを全議員が理解しているのか？同じ市内にしながら、別の扱いをされるのはかなわない。近隣の市町とも格差がある。	情報格差の是正は重要である。ケーブルテレビがあれば、旧府中の状況がわかる。上下ではわからない。協和地域は有線も何もない。行政と議論したい。	総文
27	国府跡を観光資源、まちづくりに活用するという話だが、上下には代官所跡がある。史跡公園の話があったが、観光資源の一つとして開発してほしい。	緊急的な課題としては、備後国府の指定である。委員会として、代官所跡の検討はないが、天領フォーラム等の中で意義を広めていただき、民間レベルでアピールできれば、広がっていくのではないかと。委員会の中で協議したい。	総文
28	議会の情報をもっと知らせてほしい。	情報提供は大切で、積極的に取り組んでいきたい。	議運
29	農産物の販売所がなくて生産者は困っている。府中の道の駅には販売施設を設けるとのことだが、農産物、特産品のコーナーを大きくしてほしい。	道の駅には、農業振興という目的があるので、行政として生産者と話をし、できるだけ多くの商品ということで進めている。	建設
30	道の駅には行って見たくなる名物が必ずあり、いい情報がある。行きたくなるような道の駅になるように議会から行政に言ってほしい。	特産品を見つけていかなければならない。委員会で先進地を視察したりして研究している。アイデアを提供してほしい。情報提供をきめ細かにしていくことが重要である。しっかり行政と協議して進めたい。	建設